

## 科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 27 年 6 月 22 日現在

機関番号：62608

研究種目：基盤研究(B)

研究期間：2011～2014

課題番号：23401021

研究課題名(和文)韓国国立中央図書館所蔵日本古典籍の日韓共同研究

研究課題名(英文)Japan-Republic of Korea collaborative research on pre-modern Japanese books owned by the National Library of Korea

研究代表者

大高 洋司(Otaka, Yoji)

国文学研究資料館・研究部・教授

研究者番号：60152162

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 13,100,000円

研究成果の概要(和文)：1)韓国国立中央図書館所蔵の朝鮮総督府旧蔵和古書のうち、国文学研究資料館による従来  
の調査に漏れた国文学関係資料について、カード調査を完了した。また、調査を終えた資料のうち、中央図書館のデー  
タベースから公開されているもの583点について、国文研のデータベースから公開することの許可を得た(現在公開中  
)。2)研究期間中に、5回の「日韓古典籍研究交流会」を行った(中央図書館で4回、国文研で1回実施した)。3  
)研究報告を兼ね、研究成果を『日韓の書誌学と古典籍』(2015年5月)として刊行した。

研究成果の概要(英文)：1) Our team completed researching on pre-modern Japanese books of the collection  
of old Governor-General of Korea (Chosen Sotoku-fu) owned by the National Library of Korea (NLK), which  
were leaking from previous investigations by National Institute of Japanese Literature (NIJL). And we  
gained permission to open to public 583 image sets of the collection of old Governor-General of Korea,  
which are also releasing from the web site of NLK, on NIJL's web site. 2) We held the Japan-Korea  
research exchange meeting on pre-modern books five times (four times at NLK and once at NIJL) during a  
study period. 3) We published a report Bibliography and Pre-modern Books of Japan-Korea (2015).

研究分野：日本近世文学

キーワード：日本 韓国 古典籍 書物 書誌学 交流 共同調査 共同研究

### 1. 研究開始当初の背景

本研究は、科学研究費補助金基盤研究 A2 「旧植民地所在日本書籍の重点資料の本文研究と総合解題目録作成についての研究」(平成 13～16 年度、代表者：松野陽一(国文学研究資料館元館長))として中国・韓国・台湾などで実施された残存調査のうち、韓国国立中央図書館所蔵の日本古典籍を対象としたカード調査を継承・発展させたものである。

### 2. 研究の目的

上記の調査は予定点数を満たさないまま終了したが、今西祐一郎(国文研現館長)のもとでその続行が計られた際(平成 22 年度)に、中央図書館から古典籍を媒介とした研究交流の提案があった。これを受けて、代表者・コアメンバーによって具体的な計画を練り、古典籍調査の継続と共に、主として中央図書館を会場とする定期的な研究交流会を通じて、古典籍を媒介とした日韓の研究交流を促進することを目的として、科研費を申請し採択に至った。

### 3. 研究の方法

以前は日本人研究者のみによって行われていたカード調査に、今回は若手・大学院生を中心とする韓国人研究者を積極的に加え、質疑を交えた共同調査とした。また、定期的開催される「日韓古典籍研究交流会」においては、中央図書館に所蔵される日本古典籍の調査報告と、同古典運営室の研究者による韓国古典籍の研究報告を組み合わせ、通訳を介して、両国の書物に対する相互理解を深めた。調査・交流・報告書の作成などの準備作業を円滑に進めるため、平成 25・26 年度にわたり、研究協力者(紅林健志)を国文学研究資料館プロジェクト

研究員として雇用した。

### 4. 研究成果

(1)平成 13～16 年度の調査で予定した国文学関係資料の調査に漏れた 429 点について、今回の調査でカード記載を完了した。また、調査を終えた資料のうち、中央図書館のデータベースから公開されているもの 583 点について、国文研のデータベースから公開することの許可を得た(平成 25 年より公開中)。

(2)研究期間中「日韓古典籍研究交流会」を 5 回開催し、両国の古典籍についての相互理解を深めた。そのうち第 2～4・6 回は中央図書館において公開で行い(毎年 7 月下旬、参加者は約 25～35 名)、第 5 回は韓国・日本の研究者を国文研に招いて実施した(2013 年 1 月 24～26 日、参加者は約 30 名)。それぞれの概要については、韓国開催分は中央図書館(2010 年開催の第 1 回分を含む)、日本開催分は国文研によって、資料集(冊子)がまとめられている。

第 1 回(参考)：2010 年 7 月 26 日(月)、国立中央図書館デジタル図書館セミナー室、国文研の調査概要と日韓書誌学についての意見交換(日本側 3 名、韓国側 1 名、通訳)、参加者約 15 名。

第 2 回：2011 年 7 月 19 日(火)、国立中央図書館デジタル図書館大会議室、善本調査報告・研究報告(日本側 3 名、韓国側 1 名、通訳)、参加者約 25 名。

第 3 回：2012 年 7 月 25 日(水)、国立中央図書館地図資料室セミナー室、善本調査報告・研究報告(日本側 3 名、韓国側 1 名、通訳)。参加者約 35 名。

第 4 回：2013 年 7 月 31 日(水)、国立中央図書館地図資料室セミナー室、善本調査報告・研究報告(日本側 4 名、韓国側 1 名、

通訳)、参加者約 35 名。

第 5 回：2014 年 1 月 24～26 日 (金～日)、  
国文学研究資料館オリエンテーション室他。

1 月 24 日：研究発表 (韓国側 2 名、コメン  
テータ、通訳)、参加者約 30 名。

1 月 25 日：講演 (日本側 1 名、コメンテ  
ータ、通訳)・研究発表 (日本側 3 名、韓国側  
1 名、通訳)、参加者約 30 名。

1 月 26 日：凸版印刷博物館 (東京都文京区)  
における関連資料調査、参加者約 10 名。

第 6 回：2014 年 7 月 29 日 (火)、国立中央  
図書館地図資料室セミナー室、善本調査報  
告・研究報告 (日本側 3 名、韓国側 1 名、  
通訳)、参加者約 35 名。

3) 成果報告を兼ねて『日韓の書誌学と古  
典籍』を編集・刊行した (2015 年 5 月)。  
本書の第 I 部「韓国古典籍と日本」は上記  
研究交流会の成果を論文 (7 編)・コラム (5  
編) として掲載し、第 II 部「韓国国立中央  
図書館所蔵の日本古典籍—善本解題」では、  
2001 年以来調査してきた日本古典籍のう  
ち、研究交流会において報告した資料を中  
心に 33 点を収録した。

## 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者  
には下線)

〔雑誌論文〕 (計 3 件)

佐々木孝浩「室町期東国武士が書写した八  
代集—韓国国立中央図書館蔵・雲岑筆『古  
今和歌集』をめぐって」、『成城国文学』29、  
査読無、27—42 頁、2013 年 3 月

入口敦志「明清版本は日本においてどう和  
様化されたか—日中韓の比較からみる十七  
世紀の諸相—」、『中国古典文学と挿画文化』  
(アジア遊学 171)、査読無、202—211 頁、  
勉誠出版、2014 年 2 月

紅林健志「韓国国立中央図書館蔵『本朝水

滄伝』について—『本朝水滄伝』改題考補  
遺』、『近世部会誌』7、査読無、10—11 頁、  
2013 年 3 月

〔学会発表〕 (計 0 件)

〔図書〕 (計 1 件)

大高洋司・陳捷編『日韓の書誌学と古典籍』  
(アジア遊学 184)、200 頁、勉誠出版、2015  
年 5 月

目次

今西祐一郎 「はじめに」

大高洋司 「日韓書物交流の軌跡」

第 I 部「韓国古典籍と日本」

藤本幸夫 「日本現存朝鮮本とその研究」

奉 成奇 「韓国古文献の基礎知識」 (翻  
訳：金子祐樹)

李 載貞 「韓国国立中央博物館所蔵活字  
の意義」 (翻訳：李仙喜)

柳 富鉉 「高麗大蔵経についての新たな  
見解」 (翻訳：中野耕太)

【コラム】松本眞輔 「通度寺の仏書刊行  
と聖宝博物館」

佐々木孝浩 「日本古典籍における近世初  
期の表紙の変化について—朝鮮本と和本  
を繋ぐもう一つの視座」

入口敦志 「古活字版の黎明—相反する二  
つの面」

陳捷 「韓国国立中央図書館所蔵琉球『選  
日選書』について」

【コラム】金貞禮 「古典籍が結ぶ共感と  
情感」

【コラム】兪玉姫 「韓国で日本の古典を  
教えながら」

【コラム】安惠環 「韓国国立中央図書館  
所蔵の日本関係資料」

【コラム】増井ゆう子 「韓国国立中央図  
書館日本古典籍の画像公開を担当して」

第Ⅱ部「韓国国立中央図書館所蔵の日本古典籍－善本解題」

執筆担当者：岡島昭浩・寺島恒世・海野圭介・藤島綾・佐々木孝浩・小林健二・林真人・大高洋司・入口敦志・金田（大石）房子・紅林健志・黒石陽子・堀川貴司

陳捷「あとがき－古典籍書誌情報の共有から共同研究へ」

〔産業財産権〕

○出願状況（計0件）

名称：

発明者：

権利者：

種類：

番号：

出願年月日：

国内外の別：

○取得状況（計0件）

名称：

発明者：

権利者：

種類：

番号：

出願年月日：

取得年月日：

国内外の別：

〔その他〕

ホームページ等 なし

6. 研究組織

(1) 研究代表者

大高洋司 (Otaka, Yoji)

国文学研究資料館・研究部・教授

研究者番号：60152162

(2) 研究分担者 なし

(3) 連携研究者

寺島恒世 (Terashima, Tsuneyo)

国文学研究資料館・研究部・教授

研究者番号：80143080

小林健二 (Kobayashi, Kenji)

国文学研究資料館・研究部・教授

研究者番号：70141992

陳捷 (Chen, Jie)

国文学研究資料館・研究部・教授

研究者番号：40318580

入口敦志 (Iriguchi, Atsushi)

国文学研究資料館・研究部・准教授

研究者番号：80243872

海野圭介 (Unno, Keisuke)

国文学研究資料館・研究部・准教授

研究者番号：80346155

大石房子 (Oishi, Fusako)

国文学研究資料館・古典籍共同研究事業

センター・特任准教授

研究者番号：80746462

藤島綾 (Fujishima, Aya)

国文学研究資料館・研究部・特定研究員

研究者番号：80599556

岡島昭浩 (Okajima, Akihiro)

大阪大学・大学院文学研究科・教授

研究者番号：50194345

黒石陽子 (Kuroishi, Youko)

東京学芸大学・教育学部・教授

研究者番号：40247268

佐々木孝浩 (Sasaki, Takahiro)

慶應義塾大学・斯道文庫・教授

研究者番号：20225874

堀川貴司 (Horikawa, Takashi)

慶應義塾大学・斯道文庫・教授

研究者番号：20229230

(4) 研究協力者

紅林健志 (Kurebayashi, Takeshi)